

梅 檀

野生生物保護功労者表彰

『環境大臣賞受賞』

受賞報告村長訪問

今年度より休校となった北国小学校が前年度までの野生生物保護活動において環境大臣賞を受賞しました。その快挙の報告として6月5日(水) 国頭村役場村長室を訪ね受賞の報告をしました。

報告会には現国頭中学校の武田小夏さんを中心に辺土名小からも4名が報告会に参加しました。



詳しくは、6月6日(木) 沖縄タイムスに記載されています。(社会面26)

国頭村が国定自然公園に指定され、さらに世界自然遺産登録を目指していくなか、国頭村へき地小規模校における地道な活動に光をあてられた関係団体各位に感謝申し上げます。村としても世界登録へのあと押しになったのではないだろうか。

子ども園との6年生交流学習

園児を相手に奮闘

6月6日(木) 6年生が国語の学習において「学校パンフレットつくろう」の単元でその紹介の先として国頭子ども園を訪ねた。

言葉の理解が難しい園児を相手に戸惑う6年生、園児たちの先輩を見つめる目に背中を押されながら何とかプレゼンはやり切った。

園児たちにどれだけ伝わったかはさておき、素晴らしい資料を準備し最後までやり切った6年生に私は頼もしさを感じた。

そのあとは中庭で、保育児も含めて楽しく遊びながらの交流会となった。6年生の周りには園児が群れのように押し寄せる。園児の思いに気遣いながら額に汗して遊びに付き合う6年生、「えらい」

村教育委員会の園原教育長は、国頭村の教育施策の理念を0歳児から15歳児(中学校)までの

『すべての幼児・児童・生徒の学びの保障を目指して』とし、学推のキーワードに「つなぐ・学ぶ・拓く」を提案した。子ども園では幼稚園と保育所という箱が重なった、園と小学校の連携はその理念と方策でつなげる。本日の実践から子ども達が学んだことは

大きい。とくに、対象が幼児となつた園児とのコミュニケーションは簡単なことではない。六年生の皆さんに素直に敬意を表します。



図書館で平和について考える5年生



6月は平和について考える月間。図書館には沖縄戦関連図書が準備されている。何かを感じる機会である。



六月は校内で平和について考える月間として様々な取り組みが行われる。5年生は、図書館に準備された沖縄戦の本や資料を見たり読んだり、さらに教師の読み聞かせを聞いた後、「平和に向けて今、自分のできる「ト」をテーマに学習した。「みんなにやさしくする」「食べ物大切に作る」子どもたちなりに感じる事が大切である。読人物や資料から彼らは確実になにかを学ぶことになる。



日常の小さなことが大切

左の写真、誰もいない教室のイスと机。下の写真、2年生の靴箱と、子ども園に行った時の6年生の靴。



言われたことができないのはだめ。言われた時しかできないのはもったいない。言われなくても見られてなくても自分でできるよ。うになりた。

